

# 令和3年度 総合戦略に掲げる基本目標の主な事業の取組及び成果【基本目標、具体的な施策別】

## 基本目標1: 儲かる地域をつくとともに、安定した雇用を創出する

| 事務事業名                            | 事務事業の概要                                                                                                                                                           | 対象                                        | 意図                                                                             | 成果指標                                                        | 活動実績                                                                                                                                                                                                             | 活動成果                                                                                                                                                                                                                       | 担当課   |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>(1) 農産物の高付加価値化及び安定した販路の確保</b> |                                                                                                                                                                   |                                           |                                                                                |                                                             |                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                            |       |
| 六次産業化支援事業                        | 農業者の農産物加工に取り組む機器購入や地産地消を推進するための軽トラ市の開催、マルシェ等へ積極的に参加する農業者、首都圏等における町の農産物、農産物加工品の販売・PR活動に対し支援を行う。                                                                    | 六次産業化に取り組む農業者                             | 六次産業化支援事業の活用により六次産業化が進む。                                                       | 六次産業化支援事業補助金を活用した人数(組織) 4件<br>マルシェの開催回数 4回                  | 農産物加工に取り組む2名に対し、六次産業化支援事業補助金1,258,500円を交付した。<br>町内で開催されるマルシェに参加した農業者1名及び農業者団体1団体に対し、六次産業化支援事業補助金296,491円を交付した。<br>オンラインによる販売や首都圏や町内においてマルシェを開催した。また町内事業所を対象とした移動販売を実施した。                                         | 加工のための施設整備及び加工機器購入費の支援により、農産物加工に取り組みやすい環境が整い新たな農産物加工品の製造が可能となった。<br>新型コロナウイルス感染症の影響により、マルシェ開催が難しい状況もあったが感染対策を行いながら消費者の意見を直接聞くことができ、さらには町の農産物を町外の方にPRすることができた。                                                              | 産業振興課 |
| 農業生産力強化支援事業                      | 転作作物の出荷・販売の取組、認定農業者が行う水稲生産の省力化や園芸作物の生産面積を拡大するための機械購入費用などについて支援を行い、農業生産力の向上を図る。                                                                                    | 農業者                                       | 農業生産力が向上する。                                                                    | がんばる農業応援事業における対象作物の導入面積 726ha<br>農業生産力強化支援事業を活用する人数(組織) 13人 | ・がんばる農業応援事業補助金:水田を活用し、土地利用型作物や園芸作物等を導入した農業者に対して、347件、作付面積726ha、総額20,501,877円の補助金を交付した。<br>・稲作経営継続支援金:820名に対して、54,537,822円の補助金を交付した。<br>・農業生産力強化支援事業補助金:水稲生産省力化支援、園芸作物種苗購入、園芸施設、園芸機械等、13名に対して3,864,724円の補助金を交付した。 | ・農地を有効活用し、土地利用型作物や園芸作物等を導入することで、複合経営による安定的な農業経営が図られた。<br>・米価下落の影響を受けた米生産農家の次期作への生産意欲向上及び農業経営の安定化が図られた。<br>・ドローンによる技術習得を受けるなど、技術向上が図られた。<br>・園芸作物の種苗を購入し、新規作付や規模拡大が図られた。<br>・園芸作物の栽培に必要な農業機械や資材を導入し、安定的な収量の確保や農作業の省力化が図られた。 | 産業振興課 |
| <b>(2) 農業を担う人材の育成</b>            |                                                                                                                                                                   |                                           |                                                                                |                                                             |                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                            |       |
| 新規就農者・担い手育成事業                    | 就農時の初期投資や技術習得に係る費用など経営確立・営農継続に要する経費に対し補助金を交付するとともに、地域農業の担い手への農地集積の取り組みに対し補助金を交付することで、農業の維持、農地の保全を図る。                                                              | 新規就農者、担い手                                 | 本町内で継続的に営農する。                                                                  | 新規就農者増加数 3人                                                 | ・新規就農者育成奨励金事業:認定新規就農者17名に対し、総額9,500,000円の補助金を交付した。<br>・農業次世代人材投資事業:認定新規就農者7名に対し、総額10,756,136円の補助金を交付した。<br>・機構集積協力金:10名・1組織に対し、総額5,514,200円の補助金を交付した。<br>・認定農業者等経営継続支援給付金:認定農業者等80名に対し、総額8,600,000円の給付金を交付した。    | 補助金の交付により就農しやすい環境づくりや農業経営の安定化が図られた。                                                                                                                                                                                        | 産業振興課 |
| <b>(3) 林業の育成に向けた基盤づくり</b>        |                                                                                                                                                                   |                                           |                                                                                |                                                             |                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                            |       |
| 森林環境整備促進事業                       | 森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、森林所有者の経営管理意向調査や経営管理権の取りまとめにより森林整備計画を策定し、林業事業体に経営管理を委託することにより間伐などの森林整備を促進する。                                                                 | 長期間森林整備が行われていない民有人工林                      | 適切な森林の経営管理計画が作成され、計画的な森林整備が実施される。                                              | 森林経営管理意向調査実施面 361.46ha<br>積森林整備面積 0ha                       | ・上平字下原地内外における意向調査(187.90ha)が完了した。<br>・東尾岐字上向地内外における意向調査(173.56ha)が完了した。<br>・旭三寄字仲山地内外における森林経営管理権集積計画(36.40ha)の作成が完了した。<br>・赤留字向山地内外における森林経営管理権集積計画(94.56ha)の作成が完了した。                                             | 森林の有する公益的・多面的機能の保全を図るための計画的な森林整備を町内民有人工林で展開する準備を進めることができた。                                                                                                                                                                 | 産業振興課 |
| 林道整備維持管理事業                       | 林業が魅力ある産業として成長するためには、森林資源の有効活用が必要である。そのためには森林資源の搬出コスト低減が必要であることから、林道の整備・維持管理を適正に行うことにより作業条件を向上させ、林業従事者の所得向上につなげる。                                                 | ①既設林道<br>②新設林道及び既設作業道                     | ①安全に通行できる状態が保たれている<br>②新規林道については開設され、既設作業道においては改良が行われる                         | 通行可能林道延長 79,774m<br>林道密度 5.68m/ha                           | ・林業専用道大滝線支線開設工事(2工区、1,120m)に着手した。                                                                                                                                                                                | ・維持管理作業の実施及び愛護団体への草刈業務委託などにより、林道の通行安全を確保した。<br>・林道開設工事の実施により効率的な森林整備施策に向けたインフラ整備に着手した。                                                                                                                                     | 産業振興課 |
| <b>(4) 町内事業所の稼ぐ力向上及び新規創業への支援</b> |                                                                                                                                                                   |                                           |                                                                                |                                                             |                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                            |       |
| 創業事業継続支援事業                       | 中小企業者の設備の近代化、経営の合理化等を促進することを目的に保証原資を信用保証協会に貸付け、預託金の5倍に相当する額を金融機関が中小企業者に融資すると共に、経営安定化のための各種融資制度の償還利子等について補助する。また、創業支援事業計画に基づき、各創業支援機関との連携体制を整え、創業関連情報の一元化並びに周知を図る。 | 町内中小企業事業者又は創業者                            | 安定的な企業経営や創業の実現により、産業振興及び経済の活性化並びに雇用の創出を目指す。                                    | 商工業事業者数 725人<br>創業件数 5件                                     | ・創業支援策として、創業支援機関(商工会、金融機関)と連携し25人の創業支援を行った。<br>・創業支援セミナーに5名、あいつしんくみ創業塾に8名が受講した。<br>・中小企業振興資金融資制度で、町独自の「コロナ融資枠」を活用した企業が15件あった。                                                                                    | ・国の制度である民間金融機関向けの3年間無利子無担保の融資制度が令和3年3月31日で終了したため、町独自で新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少した事業所に貸付する「コロナ貸付枠(全額利子補給)」による事業所の資金繰りを支援した。<br>・創業支援セミナーあいつしんくみ創業塾の参加者の内、5名が創業した。                                                                | 産業振興課 |
| 商工活性化事業                          | 会津美里町商工会への補助や、各種協議会等への負担金等を交付し、町内商工業者の振興を図る。                                                                                                                      | ①【直接対象】<br>会津美里町商工会<br>②【最終対象】<br>町内の商工業者 | ①会津美里町商工会を支援することで、町内商工業者に対する経営や金融、労働等の経営指導により中小企業の振興を目指す。<br>②町内商工業者の経営安定を目指す。 | 商工会組織率 60.8%                                                | ・会津美里町商工会に対して9,497,000円の補助金を交付した。<br>※内訳:経営改善普及事業(6,206,000円)地域総合振興事業(3,291,000円)<br>・中小企業等継続支援給付金(30,800,000円)<br>・プレミアム付商品券事業(51,734,000円)<br>・飲食店等経営継続支援給付金(4,400,000円)                                       | 経営改善普及事業として、経営指導員3名・経営支援員4名・記帳指導員2名が配置された。<br>地域総合振興事業として、総合振興事業・商業振興事業・観光対策事業・各種共済事業・中小企業景況調査事業等の実施に向け、商工会を通して商工業事業者へ経営支援を実施した。<br>コロナ対策として、中小企業等経営継続支援給付金・プレミアム付商品券事業・飲食店等経営継続支援給付金を実施し、事業者の経営継続を支援した。                   | 産業振興課 |
| <b>(5) 若年世代の就職支援</b>             |                                                                                                                                                                   |                                           |                                                                                |                                                             |                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                            |       |
| 企業誘致促進支援事業(学生就業支援)               | 企業間のビジネスマッチングや、学生に対して地元企業を紹介するための情報発信媒体「会津美里町企業情報誌」とSNSの充実を図る。                                                                                                    | 町内企業と立地意向のある企業。                           | 工業団地への企業の誘致と町外移転を防止する。(併せて町内企業への就職を支援する)                                       | 製造品出荷額 1,470,000万円                                          | 企業誘致促進ホームページの情報更新を行った。<br>企業立地オンラインセミナーを行い、高田工業団地のPRを行った。<br>高田工業団地96-4区画の立地に関する問い合わせの対応を行った。<br>高田工業団地、新鶴地域空き工場の居抜物件を紹介した。<br>町内企業情報紹介媒体を更新し、冊子の配布やHP上での発信を行った。                                                 | 96-4区画の土地売買申込書を受領した。<br>企業の情報発信をすると共に学生への情報提供に務めた                                                                                                                                                                          | 産業振興課 |

## 基本目標2:本町と多様に関わる人を増やし、新しい人の流れをつくる

| 事務事業名                           | 事務事業の概要                                                                                                                                                                                                       | 対象                                             | 意図                                                                             | 成果指標                                                                                | 活動内容                                                                                                                                                                                                                                                            | 活動成果                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課   |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>(1)観光を入口とした交流人口及び関係人口の創出</b> |                                                                                                                                                                                                               |                                                |                                                                                |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| 観光まちづくり推進事業                     | 令和2年度に平成27年度に策定した会津美里町観光振興計画及び平成28年度に作成したアクションプランの改定を行った。その後期観光振興計画及び後期アクションプランの各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、事業を展開していく。                                                        | 観光客                                            | 入込客数の増加及び、町内の飲食や宿泊、買い物等により消費額拡大を図る。                                            | 一人当たりの観光消費額<br>3,975円<br>観光施設における入込客数<br>1.1万人                                      | ・観光まちづくり推進協議会を2回開催した。後期観光振興計画の進捗と成果を確認しながら、今後の進むべき方向性を協議した。<br>・観光まちづくり推進事業補助金を1団体に交付した。                                                                                                                                                                        | ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた後期観光振興計画の進捗を協議し、今後の方向性を決定した。<br>また、観光まちづくりを推進する団体を支援し、新たな観光資源(宮川千本桜ライドアップ)の創出に寄与した。                                                                                                                                | 産業振興課 |
| 観光誘客事業                          | 会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をPRし誘客促進を図る。                                                                                                                                                      | 観光客                                            | 関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することや観光客受入環境の整備により誘客を図ることで、観光客がその情報を入手し来訪する。     | 観光消費額<br>4,680万円<br>町内施設宿泊者数<br>6,712人                                              | ・観光アプリ「指さしナビ」を災害時の情報提供が出来るように改修した。<br>・広域で連携し観光PRなどを行う複数の協議会の事業に加わることで、広域での観光PRを行った。                                                                                                                                                                            | ・訪日外国人や遠方からの観光客など、会津美里町に関する情報が不足している観光客に対し、受入環境を整備した。<br>・広域で実施することで、町単独で実施するよりも効果的に観光情報をPRすることが出来た。                                                                                                                                  | 産業振興課 |
| 観光対策事業                          | 会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動等に補助を行うと共に、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。                                                                                                                               | 町民及び観光客                                        | 的確な情報発信を行うことで、町のイベント情報や観光情報を知り、入込客数が増加する。                                      | イベントの入込客数<br>1,000人<br>観光ガイド実施回数<br>14回                                             | 新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼ全てのイベントが中止となったが、次の活動を行った。<br>・関係機関と連携し、イベントに頼らない周遊や宿泊補助など「GO TO MISATO」事業を展開した。<br>・観光施設の美化作業を実施した。<br>・観光素材等についての情報提供(電話による問い合わせ対応、パンフレット等の送付など)を行った。                                                                                     | ・イベントの来場者数について、ほとんどイベントが中止となったが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、例年と違う形で実施した「せと市WEEK」では、1,000人の誘客が図られた。<br>・観光ガイドの件数については、有料化や新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。                                                                                           | 産業振興課 |
| <b>(2)空き家の利活用による移住・定住の促進</b>    |                                                                                                                                                                                                               |                                                |                                                                                |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| 空き家利活用事業                        | 利活用可能な空き家等を移住・定住希望者等に提供し、空き家の抑制と利活用の促進に取り組み、人口減少対策に繋げる。                                                                                                                                                       | 町内の空き家等                                        | ①減少する<br>②有効に活用される                                                             | 空き家等数<br>423軒<br>空き家等利活用者数<br>7人                                                    | ・空き家利活用制度周知用チラシを作成し主に固定資産税納税義務者等に配付した。<br>・空き家・空き地バンク事業を民間に委託し、物件のマッチング強化を図った。<br>・空き家利活用の促進のため、「空き家セミナー」を開催した。<br>・(公社)全日本不動産協会福島県本部と空き家・空き地バンク事業の推進に関する協定を締結した。                                                                                               | ・利活用制度等のチラシ配布により、空き家所有者等への空き家に対する意識付けが図られた。<br>・空き家・空き地の成約が9件(空き家7、空き地2)あり、利活用が図られ空き家・空き地の減少に繋がった。<br>・空き家・空き地バンクの民間委託や空き家セミナーにより、空き家関連の相談窓口の周知と浸透、相続登記等の重要性の周知が図られた。<br>・不動産関係団体との協定により、空き家・空き地バンクの推進に関する連携体制を構築できた。                 | 政策財政課 |
| <b>(3)移住・定住の促進</b>              |                                                                                                                                                                                                               |                                                |                                                                                |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| 移住促進事業                          | 移住定住支援コーディネーターを配置して多様な情報発信ときめ細かい相談体制を確保するとともに、コロナ禍に対応したオンラインでの移住相談も活用しながら本町の魅力をPRし、移住・定住人口の増加を図る。                                                                                                             | ①移住希望者<br>②定住希望者                               | ①移住する<br>②定住する                                                                 | 移住者<br>41人<br>定住者<br>50人                                                            | ・移住定住支援業務を、空き家・空き地バンクの運営も含め民間に外部委託して実施した。<br>・移住定住支援コーディネーターと連携を図り、窓口での各種相談や2年ぶりに参加した首都圏での移住相談会、オンラインでの移住相談を実施して、空き家・空き地バンク及び住宅取得支援事業等のPR等を行った。<br>・サテライトオフィス等の開設に向けた事業調査を行い、民間主導による開設に向け事業者を公募した。                                                              | ・本町の移住・定住相談体制が整備され、移住・定住相談件数が高い水準を推移しており、移住先としての本町の認知度が高まった。(直近3年度の移住・定住相談件数:R1=199件、R2=165件、R3=223件)<br>・各種施策に取り組んだ成果として、本年度の移住者は16世帯41人(県内:11世帯33人、県外:5世帯8人)、定住者は15世帯50人となった。<br>・サテライトオフィス等の開設を支援するデジタル田園都市国家構想推進交付金対象事業として採択を受けた。 | 政策財政課 |
| 地域おこし協力隊事業                      | 地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行う隊員に係る募集、採用、労務管理その他地域への定着に向けたサポートを行う。<br>令和3年度は「地域活力創出事業」として、地域おこし協力隊の活用について専門家等の意見を取り入れながら、町の課題解決と定住・関係人口の創出を図るため、持続的な受入れ態勢の構築に取り組み、継続した地域おこし協力隊の採用に繋げる。 | 地域おこし協力隊員                                      | 地域課題解決のための活動に従事しながら地域に定住する。                                                    | 活動している隊員<br>4人<br>卒業後の定住隊員数<br>5人                                                   | ・地域おこし協力隊の募集を行った。<br>・地域おこし協力隊OBの起業支援を行った。<br>・専門家を交えて、隊員や職員、町内関係者と協力隊の支援体制の検討会等を行った。                                                                                                                                                                           | ・4名の地域おこし協力隊員を、令和4年4月より新たに採用した。<br>・地域おこし協力隊OB1名が起業支援補助金を活用し、本町での起業につながった。<br>・協力隊関係者への制度周知や活用の機運醸成につながり、受入体制構築及び定住への一助となった。                                                                                                          | 政策財政課 |
| 水道未普及地域生活用水確保対策事業               | 町の水道が整備されていない地域の集落等において、生活用水を確保するために必要な施設の新設又は改修等を行なう個人又は団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。                                                                                                                            | 水道未普及地域で生活用水を確保するために必要な施設の新設又は改修等を行う個人(世帯)又は団体 | 生活用水を安全で安定的に確保できる。                                                             | 水道未普及地域の世帯数に対して、この補助金を利用して改修・新設した世帯数累計の割合<br>42%<br>水道未普及地域において、この補助金を利用して改修・新設した世帯 | 水道未普及地域の17件(17世帯)に対し、総額52,584,000円の補助金を交付した。                                                                                                                                                                                                                    | 生活用水を安全で安定的に確保できる世帯が増加した。                                                                                                                                                                                                             | 建設水道課 |
| <b>(4)小中学生及び高校生のまちづくりへの参画</b>   |                                                                                                                                                                                                               |                                                |                                                                                |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| 教育研究事業                          | 教職員の研修会、講演会等の実施や学校図書館の充実、教育活動に基づく各種大会等に出場することにより、児童生徒の健全な育成に寄与する。                                                                                                                                             | 町内小中学校                                         | ①児童生徒が読書に親しむ習慣を身に付けてもらう。<br>②児童生徒の各種大会等出場機会を確保し、特に運動やスポーツの習慣を身に付けてもらう。         | 1人あたりの1ヵ月平均読書冊数<br>8.1冊<br>各種大会等出場補助件数<br>53件                                       | ・本の郷図書館や学校図書室に図書支援員を配置し、読書活動を推進した。<br>・各種大会に出場した学校に対し、学校教育関係各種大会等出場補助金を53件、4,049,908円交付した。                                                                                                                                                                      | ・図書支援員を配置し本の郷図書館や学校図書室充実を図り、読書に親しむ習慣を身につけることに寄与することができた。<br>・保護者等の費用負担を軽減し、各種大会等出場への出場機会が増えることで、運動やスポーツの習慣を身につけることに寄与することができた。                                                                                                        | 教育文化課 |
| まちづくり活動支援事業                     | 地域活動は、まちづくりに必要不可欠なものであり、集落機能の維持やまちづくり団体等が抱える課題の解決を図るため、集落支援員による地域活性化に向けた支援を行う。また、地域コミュニティの活性化に資する活動に対し、助成金を交付する。<br>令和3年度からは、町民の地域活動への参加意識を高め、地域づくり活動が安定的・持続的に展開できる人材の育成・確保及びその活躍を推進する。(地元高校生の参加を見込む)         | ①地区コミュニティ(集落、自治区等)<br>②まちづくり団体(NPO、ボランティア団体等)  | ①課題解決に向けた意識が醸成され、住民同士の連帯・協力関係が向上し、地域活動が活性化化する。<br>②活動が活性化し、まちづくりや地域課題の解決に寄与する。 | 支援を行った地域コミュニティ数及び団体数<br>67件<br>地域活動の推進に満足している町民の割合<br>51.2%                         | ・集落支援事業として、自主防災機能の組織化、高齢者教室の開設、農業後継者問題等への支援を行った。<br>・中間支援事業として、NPO法人その他地域活動団体への活動支援を行った。<br>・地域団体、町民を対象とした先進地視察研修(磐梯町)、及びSDGsワークショップ講座を主催した。<br>・広報紙「もつとみつと」、みさとねつとのHPやSNSにより自主活動及び地域活動団体等の情報発信を行った。<br>・自主防災組織設立や地域活動を通して、地域の中心となる人材に声掛け等を行い、協力を得ることで人材育成に繋げた。 | ・高齢者教室又はつどいの場開催支援を通じて意識の醸成につながった。<br>・地域活動団体「新富座と歩む会」の設立後のサポート及びその他各種団体へのサポートをとおり地域課題の解決を進めた。<br>・高校生と団体のコラボレーションによる情報発信、相互活性化・課題解決をとおして学官連携を推進した。<br>・史談、甚句、伝統行事の継承支援(デジタル化)としてアーカイブ化を進めた。                                           | 政策財政課 |

## 基本目標2:本町と多様に関わる人を増やし、新しい人の流れをつくる

| 事務事業名                             | 事務事業の概要                                                                                                                           | 対象      | 意図                | 成果指標                                                        | 活動内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 活動成果                                                                                                                                                                                                  | 担当課   |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>(5)大学等との学官連携の推進</b>            |                                                                                                                                   |         |                   |                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                       |       |
| 地域振興事業                            | 地方創生及び過疎対策等、地域活性化の推進を図る。また、学官連携等により人的・知的資源を活用して、町の地域課題を解決するための調査研究を行う。                                                            | 本町の地域課題 | 学官連携により解決する。      | 本町の地域課題の提言を行った件数<br>1件                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来技術ニーズ調査事業を実施し、テレワークやサテライトオフィス等の環境整備を図りコワーキングスペースの整備について町の特徴と発展性の視点から調査報告により提案を受けた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の経済的支援として町民及び町内事業を応援するため町民1人5,000円の商品券を配布した。</li> <li>・大沼高校の地域課題探究に職員を派遣しアドバイスを行うなど積極的に支援した。</li> </ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会津美里町における施設の規模、提供する機能やサービスなど具体的な整備方針について決定した。</li> <li>・町内事業所で利用できる生活応援商品券を町民に配布し利用したことにより、経済的支援と地域の活性化が図られた。</li> <li>・探究学習で取り組んだアイデアを町の事業に取り入れた。</li> </ul> | 政策財政課 |
| <b>(6)ふるさと納税を通じた資金調達及び関係人口の創出</b> |                                                                                                                                   |         |                   |                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                       |       |
| 財政管理事務                            | 当初予算編成方針を踏まえた予算編成に取り組み、わかりやすい情報提供を行う。また、財政状況の分析を行い、将来を見据えた健全な財政運営に取り組む。<br>令和3年度以降は、長期財政計画のローリング結果を示すとともに、長期財政計画に沿った健全な財政運営を維持する。 | 町の財政    | 弾力性のある安定した財政運営とする | 一般会計予算総額に占める一般財源の割合(3カ年平均)<br>64.23%<br><br>財政状況公表回数<br>11回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「会津美里町長期財政計画(令和3年度ローリング)」を策定した。また、令和4年度当初予算編成において、経費別一般財源上限額の設定、一般財源ベースの歳出予算圧縮を図り、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行った。</li> <li>・広報紙及びわかりやすい予算書において、大学連携事業における提言に基づき、財政状況をわかりやすく伝えるための改善に向けた検討を行った。</li> <li>・地方公会計の財務諸表を用いた職員及び議会に対する研修会を開催し、財政状況について認識の共有を図った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度当初予算編成において、予算総額に占める一般財源の割合を64.23%とし、過去3カ年平均比△3.83%、前年比△2.26%の圧縮につながった。</li> <li>・決算状況について、議会や町民等に対し、きめ細やかに公表したことで透明性の確保が図られた。</li> </ul>                 | 政策財政課 |

### 基本目標3:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

| 事務事業名                           | 事務事業の概要                                                                                                                                                                      | 対象                                        | 意図                                                                                                       | 成果指標                                              | 活動内容                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 活動成果                                                                                                                                                                                | 担当課    |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| <b>(1)出会いと結婚の支援</b>             |                                                                                                                                                                              |                                           |                                                                                                          |                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                     |        |
| ネウボラ推進事業                        | 人口減少の要因である未婚化・晩婚化対策の一つとして、結婚を希望する独身者への新たな出会いの機会の創出や、出会いから結婚、出産、子育てまでの継続的な支援を行う。それに伴い、結婚の推進を目的とした出会いの機会等を積極的に提供する団体等に対して、補助金を交付する。                                            | ①結婚を希望する独身男女<br>②子育て中の方                   | ①結婚の希望の実現<br>②妊娠期から子育てまでの継続的な支援が受けられる。                                                                   | 縁結びサポーター登録者数 12人<br>結婚子育てコンシェルジュを通して交際に結びついた件数 1組 | ・出会いから結婚子育てに関する町の支援等をまとめたネウボラガイドブックを作成し、子育て世代を中心に配布した。<br>・子育て支援品(木のおもちゃ等)の支給と子育てコンサートを開催した。<br>・男女の引き合わせを9回実施した。また情報交換会、スキルアップ研修会を開催した。<br>・出会いの機会等を提供する団体等に対して、補助金を交付し支援した。<br>・独身男女のスキルアップセミナーのほか、婚活イベント、オンラインフイーリングコン、スポーツ婚活を開催した。                                               | ・木のおもちゃ(子育て支援品)や音楽に触れる機会が創出され子育て支援につながった。<br>・縁結びサポーターのスキルアップが図られた<br>・婚活イベント等により、3組のカップルが成立した。<br>・コロナ禍でも密にならず交流できるスポーツ婚活により、出会いの機会を創出できた。<br>・独身男女を対象としたセミナーにより、自分磨きや魅力の向上につながった。 | 政策財政課  |
| <b>(2)妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援</b> |                                                                                                                                                                              |                                           |                                                                                                          |                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                     |        |
| 母子保健事業                          | 特定不妊治療費の助成。妊婦・産後健診を実施し、安心・安全な妊娠・出産を図る。乳幼児健康診査・健康相談・子育て相談を実施し、疾病や育児不安等の早期発見・早期支援に努める。また、幼児へのフッ化物歯面塗布事業により、むし歯予防を図る。産後ケア事業や子育て支援教室の実施により、子どもの健全な発育・発達の支援及び子育てのストレスや育児不安の軽減を図る。 | 妊娠を希望する夫婦・妊婦及び乳幼児とその家族                    | ○安全な妊娠・出産<br>○子どもが健やかに成長する<br>○保護者の子育てへのストレスや育児不安を軽減し、子どもの適切な養育環境を整える。                                   | 3歳児健康診査受診率 91.8%<br>乳幼児健康診査・健康相談未受診者の把握率 100%     | 特定不妊治療の助成及び妊婦・産後健診や関係機関と連携し、安全・安心な妊娠・出産が迎えられるように努めた。乳幼児健康診査・健康相談は、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら実施したが、6～7か月児健康相談は3回中止した。子育て支援教室(ミルキー教室・のびのび教室)についても、感染予防に努めながら実施し、感染拡大が懸念された時期は中止とした。中止した事業においては、対象者に電話等で子育て状況を確認し、個別に対応した。よい歯の健康相談は、感染リスクが高いと判断し中止とした。                                     | 乳幼児健診健康相談・子育て相談を実施し、疾病や育児不安等の早期発見・早期支援を図ることができた。令和3年度から子ども家庭総合支援拠点を設置し、子ども家庭支援員を配置したことで、子育て相談の充実により関係機関との連携も図られ、虐待の予防にもつなげることができた。                                                  | 健康ふくし課 |
| 感染症対策事業                         | 予防接種法に基づき定期予防接種を実施し、疾病の発症予防・重症化の予防を図る。成人風しん(女性と配偶者(任意)/追加的対策(定期))の実施 任意インフルエンザ予防接種の実施                                                                                        | 定期予防接種対象者。任意予防接種(成人風しん及び任意インフルエンザ)対象者     | 疾病の発症予防・重症化の予防                                                                                           | 麻しん風しん混合(2期)接種率 94.4%                             | 生後2ヶ月以内の乳児を対象とした乳児家庭全戸訪問時に、予防接種手帳を配付しながら接種方法について説明を行った。また、乳幼児健診等の機会に接種勧奨を実施した。学童期以降に実施する日本脳炎2期・日本脳炎特例・二種混合予防接種については、対象年齢到達時に予防接種券を送付した。また、広報紙に予防接種勧奨記事を掲載するとともに、こども園で発行する保健だよりにも接種勧奨記事の掲載を依頼した。麻しん風しん2期及び日本脳炎2期の未接種者については、接種勧奨のため、電話及び個別通知を実施した。任意インフルエンザ(対象:妊婦と生後6か月～小学2年生)の助成を行った。 | 麻しん風しんの二期予防接種者は、対象者124人、接種者117人で接種率は94.4%、未接種者は7名だった。                                                                                                                               | 健康ふくし課 |
| 子ども家庭総合支援拠点事業                   | 市町村における虐待などの相談体制を強化するため、子ども家庭専門員を配置し、実態の把握、専門的な相談対応や調査など継続的なソーシャルワーク業務を中心とした機能を担い、包括的継続的な支援を行う。                                                                              | 子どもとその家族及び妊産婦等                            | 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を受けることができる。                                                                         | 児童虐待の相談対応率 100%                                   | 令和3年4月から子ども家庭総合支援拠点を子育て世代包括支援センターに併設し、子ども家庭支援員を配置した。乳幼児健診・健康相談、子育て支援事業、家庭訪問等において、親子と接する機会を持ち、実態把握により、継続支援の必要な親子にきめ細やかに、関係機関と連携し切れ目のない支援に結び付いた。                                                                                                                                       | 令和3年4月から子ども家庭総合支援拠点を設置し、子ども家庭支援員を配置したことにより、要支援親子の実態把握、専門的な相談対応、関係機関と連携した切れ目のない支援体制が整った。今後は、効果的な実施方法を検討し、虐待及び虐待予防等の相談体制の強化を図っていく。                                                    | 健康ふくし課 |
| 多子世帯保育料軽減事業                     | 多子世帯における保育料負担を軽減するため、世帯内の15歳以下の子どものうち、年長者から第1子、第2子...とし、以下のとおり保育料の減免を実施する。第1子:全額負担第2子:半額負担第3子以降:免除                                                                           | 特定教育・保育施設入所児童のうち、世帯内15歳以下の子どもで第2子以降の児童保護者 | 保育に係る経済的負担を軽減する                                                                                          | 子育てしやすい環境(育児や保育など)のまちだと思う町民の割合(町民意識調査) 82.6%      | 毎月の保育料月額から、事業実施要綱に沿って減免を行った。                                                                                                                                                                                                                                                         | 多子世帯の家庭から、経済的負担が緩和されているとの意見をいただいた。                                                                                                                                                  | 教育文化課  |
| 子育て支援センター管理運営事業                 | 施設の維持管理を行うとともに、いつでも誰でも集える親と子どもの居場所づくりや子育て相談、子育て講座、未就学児童の一時保育、ファミリーサポート事業、ホームスタート事業等を実施し、子育て家庭を支援する。また、支援担当職員向けの研修会や交流会の企画立案、他機関との連携による支援活動など、子育て支援センターとしての運営と施設管理を行う。        | ①子育て支援センターの施設<br>②未就学児童及び保護者              | ①計画的な施設の維持管理及び補修、緊急的な修繕を行い、利用者が安心して利用できる環境整備を行う。<br>②いつでも集い遊ぶことができ、子育てに関する悩みや不安を相談でき、必要な時に子どもを預けることができる。 | 事故件数 0件<br>「子育てひろば」の延べ利用者数 4,117人                 | 児童や保護者が安全に利用できるよう遊具の修繕や空調機の点検等の維持管理を行った。<br>子育て家庭を対象にひろば事業や一時保育、ファミリーサポート事業等を行った。                                                                                                                                                                                                    | 施設の不具合等で生じる事故等が起きることは無く、適切に管理できた。感染症対策を講じながらではあったが、多くのひろば利用者があった。                                                                                                                   | 教育文化課  |
| こども園管理運営事業                      | 町立こども園における教育、保育の確保及び定員管理、保育教諭の配置等適正な運営と施設の維持管理を行う。令和3年度も引き続き、教育、保育の確保と保育教諭の適正な配置を行う。                                                                                         | ①町立こども園に通う園児とその保護者<br>②町立こども園施設           | ①良質な教育・保育サービスを提供し、仕事と子育ての両立を支援する。<br>②安全な教育・保育環境が維持される。                                                  | こども園児童数 290人<br>事故件数 0件                           | 町立こども園において、良質な教育保育の確保及び定員管理、保育教諭の確保等を行った。<br>園児が安全に園生活を送れるよう適切に施設の維持管理を行った。                                                                                                                                                                                                          | 良質な教育・保育の確保及び定員管理・保育教諭の確保を行い、教育保育が必要な児童の受け入れをおこなった。<br>適切な施設管理を行った結果、施設の不具合が生じて起こる事故等は起こらず、安全に園生活を送ることができた。                                                                         | 教育文化課  |

### 基本目標3:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

| 事務事業名                                 | 事務事業の概要                                                                                                                                  | 対象                                    | 意図                                                                                               | 成果指標                                                            | 活動内容                                                                                                                                                       | 活動成果                                                                                                                                                         | 担当課   |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>(2)妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援</b>       |                                                                                                                                          |                                       |                                                                                                  |                                                                 |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                              |       |
| 児童クラブ管理運営事業                           | 就労等により昼間保護者がいない家庭の小学校児童を対象に、授業の終了後及び学校休業日に、遊びや生活の場を提供し放課後児童健全育成事業を行うとともに、児童クラブ施設の維持管理を行う。                                                | ①就労等で昼間保護者が家にいない児童及びその保護者<br>②児童クラブ施設 | ①放課後等の適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。<br>②児童及び保護者、職員が安心して活動できるよう、施設の維持管理を行う。 | 待機児童数 0人<br>事故発生件数 0件                                           | 就労等により放課後等保護者のいない家庭の小学校児童に、生活や遊びの場を提供し、放課後児童の健全な育成を図った。<br>児童クラブにおいて、児童が安心して生活できるように適切な施設の維持管理を行った。                                                        | 放課後等保護者のいない家庭の小学校児童に、生活や遊びの場を提供し、保護者の子育てと就労の両立を支援できた。<br>適切に施設管理を行った結果、施設の不具合で生じる事故は起きなかった。                                                                  | 教育文化課 |
| 地域学校協働本部事業                            | 地域住民や保護者、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えとともに、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働し「学校を核とした地域づくり」を目指す。そのために学校支援事業や放課後子ども教室推進事業などの地域学校協働活動を行う。 | 保護者<br>児童・生徒<br>教職員<br>町民             | 地域学校協働活動に参加する。                                                                                   | 地域学校協働活動に参加した児童・生徒 4,769人<br>地域学校協働活動に協力した地域住民 877人             | 地域の人材を積極的に活用しミシンや書写の授業支援を実施した。また、これまでの郷土学習や部活動支援についてもコロナ禍により制限があったものの一部を実施することができた。<br>放課後子ども教室は新型コロナウイルス感染症対策のため休止するなど計画変更したが、機をみて活動を再開し多くの児童が参加することができた。 | これまで実施してきた学習支援コーディネーター事業と放課後子ども教室事業を統合し、新たに地域学校協働本部事業をスタートすることで、地域と学校の連携・協働を図ることができた。<br>特に、各地域で実施している放課後子ども教室事業は事業を継続して実施したことで、放課後子どもの居場所づくりとして利用者からの評価も高い。 | 教育文化課 |
| <b>(3)安心して出産・子育てしながら働くことができる環境づくり</b> |                                                                                                                                          |                                       |                                                                                                  |                                                                 |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                              |       |
| 男女共同参画推進事業                            | 第3次男女共同参画推進まちづくり行動計画に基づき、男女が対等なパートナーとして、人権が尊重され、個性と能力が十分発揮できる社会の実現に向け、啓発活動に取り組むとともに、町の政策や取組に男女共同参画の視点が反映されるよう、庁内での男女共同参画の推進に努める。         | ① 男女<br>② 女性                          | ① 対等なパートナーとして人権が尊重され、性別に関わりなく個性と能力が十分発揮できる<br>② (男性と同様に)政策・方針決定の場に参画する                           | 習慣やしきたりにより男女の不平等を感じている町民の割合 35.7 %<br>審議会・委員会等における女性の登用率 28.6 % | ・事業所アンケートを実施し、男女共同参画推進の普及啓発を行った。<br>・中学生を対象に男女共同参画作文コンクールを実施し、99作品の応募があり、その中から最優秀賞1作品、優秀賞2作品を決定した。<br>・第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画を策定した。                          | ・事業所アンケートにより第3次計画の進捗状況を確認し第4次計画策定に繋がった。<br>・男女共同参画作文コンクールの実施により、未来を担う若い世代に男女共同参画について考える機会となった。<br>・じげんプラザ内展示スペースを活用し、男女共同参画作文コンクール受賞作品を紹介し、男女共同参画の普及啓発が図られた。 | 政策財政課 |

### 基本目標4:質の高い安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

| 事務事業名                      | 事務事業の概要                                                                                                                                                                                                   | 対象                                            | 意図                                                                             | 成果指標                                                                   | 活動内容                                                                                                                                                                                                                                                            | 活動成果                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課   |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>(1)遊休資産の地域資源化</b>       |                                                                                                                                                                                                           |                                               |                                                                                |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| 空き家利活用事業<br>(再掲)           | 利活用可能な空き家等を移住・定住希望者等に提供し、空き家の抑制と利活用の促進に取り組み、人口減少対策に繋げる。                                                                                                                                                   | 町内の空き家等                                       | ①減少する<br>②有効に活用される                                                             | 空き家等数 423軒<br>空き家等利活用者数 7人                                             | ・空き家利活用制度周知用チラシを作成し主に固定資産税納税義務者等に配付した。<br>・空き家・空き地バンク事業を民間に委託し、物件のマッチング強化を図った。<br>・空き家利活用の促進のため、「空き家セミナー」を開催した。<br>・(公社)全日本不動産協会福島県本部と空き家・空き地バンク事業の推進に関する協定を締結した。                                                                                               | ・利活用制度等のチラシ配布により、空き家所有者等への空き家に対する意識付けが図られた。<br>・空き家・空き地の成約が9件(空き家7、空き地2)あり、利活用が図られ空き家・空き地の減少に繋がった。<br>・空き家・空き地バンクの民間委託や空き家セミナーにより、空き家関連の相談窓口の周知と浸透、相続登記等の重要性の周知が図られた。<br>・不動産関係団体との協定により、空き家・空き地バンクの推進に関する連携体制を構築できた。                 | 政策財政課 |
| 移住促進事業<br>(再掲)             | 移住定住支援コーディネーターを配置して多様な情報発信ときめ細かい相談体制を確保するとともに、コロナ禍に対応したオンラインでの移住相談も活用しながら本町の魅力をPRし、移住・定住人口の増加を図る。                                                                                                         | ①移住希望者<br>②定住希望者                              | ①移住する<br>②定住する                                                                 | 移住者 41人<br>定住者 50人                                                     | ・移住定住支援業務を、空き家・空き地バンクの運営も含め民間に外部委託して実施した。<br>・移住定住支援コーディネーターと連携を図り、窓口での各種相談や2年ぶりに参加した首都圏での移住相談会、オンラインでの移住相談を実施して、空き家・空き地バンク及び住宅取得支援事業等のPR等を行った。<br>・サテライトオフィス等の開設に向けた事業調査を行い、民間主導による開設に向け事業者を公募した。                                                              | ・本町の移住・定住相談体制が整備され、移住・定住相談件数が高い水準を推移しており、移住先としての本町の認知度が高まった。(直近3年度の移住・定住相談件数:R1=199件、R2=165件、R3=223件)<br>・各種施策に取り組んだ成果として、本年度の移住者は16世帯41人(県内:11世帯33人、県外:5世帯8人)、定住者は15世帯50人となった。<br>・サテライトオフィス等の開設を支援するデジタル田園都市国家構想推進交付金対象事業として採択を受けた。 | 政策財政課 |
| <b>(2)持続可能な公共交通体系の構築</b>   |                                                                                                                                                                                                           |                                               |                                                                                |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| 公共交通利用促進事業                 | 地域公共交通網形成計画に掲げる基本理念「安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指す」に基づき、利用者ニーズを踏まえ地域内交通及び地域間交通の維持・充実を図るとともに、広域交通を担う路線バスにおいては、新たな交通拠点や目的施設を経由するなど、便利で持続可能な公共交通網を形成する。                                                     | 町民                                            | 公共交通を利用する。                                                                     | 美里あいあいタクシー利用者 22,235人<br>路線バス利用者 596人                                  | ・路線バスの利用促進として、未就学児(年長児)を対象としたギャラリーバスを実施し、31名の未就学児が乗車した。<br>・ギャラリーバスの実施にあわせて、未就学児(年長児)を対象とした路線バス試乗会を町内の4つのこども園すべてで実施した。<br>・デマンド交通システムについて、現行システムの状況を確認し事業実施主体とともに次期システムの仕様の検討を行った。                                                                              | ・家族で公共交通を利用する機会や公共交通について考える機会となり、路線バスの利用促進へとつながった。<br>・デマンド交通次期システムの仕様が決まり、プロポーザル方式による事業者採用の準備ができた。                                                                                                                                   | 政策財政課 |
| <b>(3)町民による主体的な地域活動の構築</b> |                                                                                                                                                                                                           |                                               |                                                                                |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                       |       |
| まちづくり活動支援事業                | 地域活動は、まちづくりに必要不可欠なものであり、集落機能の維持やまちづくり団体等が抱える課題の解決を図るため、集落支援員による地域活性化に向けた支援を行う。また、地域コミュニティの活性化に資する活動に対し、助成金を交付する。令和3年度からは、町民の地域活動への参加意識を高め、地域づくり活動が安定的・持続的に展開できる人材の育成・確保及びその活躍を推進する。                       | ①地区コミュニティ(集落、自治区等)<br>②まちづくり団体(NPO、ボランティア団体等) | ①課題解決に向けた意識が醸成され、住民同士の連帯・協力関係が向上し、地域活動が活性化される。<br>②活動が活性化し、まちづくりや地域課題の解決に寄与する。 | 支援を行った地域コミュニティ数及び団体数 67件<br>地域活動の推進に満足している町民の割合 51.2%                  | ・集落支援事業として、自主防災機能の組織化、高齢者教室の開設、農業後継者問題等への支援を行った。<br>・中間支援事業として、NPO法人その他地域活動団体への活動支援を行った。<br>・地域団体、町民を対象とした先進地視察研修(磐梯町)、及びSDGsワークショップ講座を主催した。<br>・広報紙「もっと みっと」、みさとねつとのHPやSNSにより自主活動及び地域活動団体の情報発信を行った。<br>・自主防災組織設立や地域活動を通して、地域の中心となる人材に声掛け等を行い、協力を得ることで人材育成に繋げた。 | ・高齢者教室又はつどいの場開催支援を通じて意識の醸成につながった。<br>・地域活動団体「新富座と歩む会」の設立後のサポート及びその他各種団体へのサポートをとおして地域課題の解決を進めた。<br>・高校生と団体のコラボレーションによる情報発信、相互活性化・課題解決をとおして学官連携を推進した。<br>・史談、甚句、伝統行事の継承支援(デジタル化)としてアーカイブ化を進めた。                                          | 政策財政課 |
| 地域おこし協力隊事業<br>(再掲)         | 地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行う隊員に係る募集、採用、労務管理その他地域への定着に向けたサポートを行う。令和3年度は「地域活力創出事業」として、地域おこし協力隊の活用について専門家等の意見を取り入れながら、町の課題解決と定住・関係人口の創出を図るため、持続的な受入れ態勢の構築に取り組み、継続した地域おこし協力隊の採用に繋げる。 | 地域おこし協力隊員                                     | 地域課題解決のための活動に従事しながら地域に定住する。                                                    | 活動している隊員 4人<br>卒業後の定住隊員数 5人                                            | ・地域おこし協力隊の募集を行った。<br>・地域おこし協力隊OBの起業支援を行った。<br>・専門家を交えて、隊員や職員、町内関係者と協力隊の支援体制の検討会等を行った。                                                                                                                                                                           | ・4名の地域おこし協力隊員を、令和4年4月より新たに採用した。<br>・地域おこし協力隊OB1名が起業支援補助金を活用し、本町での起業につながった。<br>・協力隊関係者への制度周知や活用の機運醸成につながり、受入体制構築及び定住への一助となった。                                                                                                          | 政策財政課 |
| 図書館管理運営事業                  | 図書館法、図書館条例に基づき住民のための図書館運営に努め、蔵書整備、図書資料の貸出しや読書相談、イベント等を通じて利用の拡大を図り、誰もが気軽に利用ができ、親しまれる施設「町民みんなの本棚」を目指し、「学びの場」、「知の情報拠点」だけでなく、図書館を通じて人と人とのつながり、集い、交流する場として町民の豊かな暮らしを支えることができるよう、様々なサービスを提供し、円滑な図書館管理運営を行う。     | 町民                                            | 求める図書資料が提供できる。また読書推進が図られる。                                                     | 図書資料 35,141冊<br>貸出冊数 39,524冊                                           | 利用拡大を図るため、各種イベント、企画展示等を実施した。<br>・図書館イベントの開催:映画会、お話し会、クリスマス会、ブックカフェ、季節の花リースづくりなど<br>・図書展示:野菜づくりに関する本、図書館員おすすめの本、本屋大賞の本、季節の本、文学賞受賞図書展示など<br>・図書館だより発行(12回、子ども向け2回)                                                                                                | ・新型コロナウイルスまん延防止対策の中でも読書活動の推進を図り、目標を達成することができた。<br>・図書館を教養の情報拠点として住民が交流し、地域活性化につながることを視野に入れた事業に取り組むことができた。                                                                                                                             | 教育文化課 |
| 文化財保存・活用事業                 | 町の歴史文化を後世に継承するため、文化財の調査及び保存、活用事業の実施、郷土資料館(仮称)の開設、町民の歴史文化継承活動の支援等を行う。                                                                                                                                      | 町民                                            | 町民が、町の文化財や郷土資料を通じ、地域の歴史文化への関心及び文化財保護や活用の重要性を認識し、自分たちの地域に対する愛着や誇りを持つ機会を創出する。    | 講演会等により町の歴史文化に親しむ機会を持った町民の数 1,180人<br>町民向けの文化財保護及び活用に関する周知の場を創出した件数 5件 | ・町内の民俗資料や考古資料保存活用のための郷土資料館(仮称)新設のため、新鶴庁舎の改修工事を実施した。<br>・文化財の保護と活用に関する周知の場の創出を目的に町の天然記念物を題材にした講演会(17名参加)を実施した。<br>・住民が地区の魅力について再認識を図ってもらった地域再発見事業を町内2地区(館・瀬戸町)において実施(23名参加)した。<br>・小学生の郷土の誇りや愛着醸成のための町歴史副読本「知ってる?会津美里の歴史」を再版した。                                  | ・町の天然記念物に関する講演会を実施し、住民が主体となって地域の文化財の保存活用を考えることの重要性を町民に周知する機会を創出できた。<br>・町内の小学生(4～6学年)を対象に学校教材として歴史副読本を活用することで、町の歴史に触れる契機となった。<br>・地域再発見事業では、担当者や住民が、地区の歴史や文化財について住民自身の昔の思い出話等を交えて自由に語り合うことで、住民自身が地区の魅力を再認識する場を創出できた。                  | 教育文化課 |

### 基本目標4:質の高い安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

| 事務事業名                    | 事務事業の概要                                                                                                                                                                                                                                                | 対象            | 意図                                                                                                                              | 成果指標                                                       | 活動内容                                                                                                                                                                                                                           | 活動成果                                                                                                                                                                                                 | 担当課    |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| <b>(4)健康で快適な生活づくりの推進</b> |                                                                                                                                                                                                                                                        |               |                                                                                                                                 |                                                            |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                      |        |
| 公民館活動事業                  | 生涯学習の推進を図るため、対象別(青少年・成人・高齢者等)課題別などの継続的な講座や講演会などを開催する。また、各生涯学習センターとの連絡調整を図る。                                                                                                                                                                            | 町民            | 公民館事業に参加することで、親睦・融和・学習意欲の高揚さらには生きがいの醸成が図られる。                                                                                    | 延べ参加人数 647 人                                               | 社会教育・生涯学習の推進を図るためニーズに沿った継続的な講座や講演会などを実施した。<br>・美里楽園(学習会12回:文化祭出展作品講座3コース含む、延べ参加人数502人)<br>・子どもお琴教室(8回、延べ参加人数70人)<br>・子ども茶道教室(8回、延べ参加人数75人)<br>※新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止や延期を含め、活動の状況に応じた様々な対策を取りながら実施した。                          | ・ニーズに沿った学習会を取り入れ、参加者が意義を持って取り組むことにより学習意欲の高揚がみられた。<br>・活動を通して、いろいろな人と交流をすることにより生きがいが見出され、生涯学習の推進が図られた。<br>・講座への参加者の有志により、自主的なサークルの育成に繋がった。                                                            | 教育文化課  |
| 生涯学習センター活動事業             | 各生涯学習センターを拠点として生涯学習の推進を図るため、対象・分野別の講座等の開催や地域に根ざした活動を展開する。また、文化活動として、高田・本郷・新鶴地域においてそれぞれ特色のある文化祭を開催し、文化団体が主体的になり個人の方にも日頃の成果等を発表する場を設け、参加者と鑑賞者との自由なふれあい・交流を通して地域の文化や教育の発展向上を図る。                                                                           | 町民            | ・各生涯学習センターでの各種講座等へ参加することで、積極的に生涯学習活動ができるようになり、生涯学習センターの利用促進が図られる。<br>・文化祭の開催により、展示・発表を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、より積極的に活動的な団体及び町民が増える。 | 生涯学習センター各種講座への参加者数 1,287人<br>文化祭への出品者数 1,038人              | 感染症防止対策を講じながら各生涯学習センターを拠点としながら対象・分野別に各種講座を実施した。<br>・青少年・成人・高齢者講座を高田11回(228人)、宮川24回(436人)、本郷8回(99人)、新鶴16回(499人)開催し、合計59回開催、1,262人の参加があった。スポーツ大会は、宮川(藤川地区)1回25人の参加があった。<br>・文化祭は高田・本郷・新鶴にて作品展示に限定し実施した。コロナ禍で活動休止の団体があり出品は減少している。 | ・各生涯学習センターにおいて、地域活動推進会議や各地区実行委員会により意見をいただきながら、感染防止策を踏まえた対象別・分野別の各種講座やスポーツ大会を開催し、生涯学習活動の推進が図られた。<br>・コロナ禍ながらも実施したことにより、参加した文化団体の達成感や意欲が高まり、また町民の芸術文化に触れる機会となった。文化祭の運営については実行委員会などにより実施期間や内容を検討し開催できた。 | 教育文化課  |
| スポーツ活動推進事業               | 町民や各種団体・実行委員会等のスポーツ活動を支援するため、大会運営や補助金等の交付を行う。                                                                                                                                                                                                          | 町民            | スポーツを通して心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等を図る。                                                                       | 学校体育施設の利用人数 15,640人<br>市町村対抗スポーツ大会への参加 3種目                 | ・学校体育施設開放については、施設利用についての留意点などをまとめた「学校開放の手引き」を新たに作成し、利用団体への理解を促すとともに、スポーツ活動の場を提供した。(利用登録23団体)<br>・各種大会出場への補助金を交付した。<br>福島県縦断駅伝競走大会 大会結果:総合7位 町の部2位、市町村対抗軟式野球大会 大会結果:1回戦敗退 市町村対抗ソフトボール大会 大会結果:2回戦敗退                              | ・学校施設開放事業において、申請や利用方法の統一により、適正な利用環境が整備された。<br>・各種市町村対抗大会においては、出場選手のみならず体育協会や強化部会等が一体となって運営にあたり、スポーツを通じた交流を深めることができた。特に県縦断駅伝競走大会においては連続して上位入賞を果たし、中学生から大人まで幅広い選手層で構成し、自らの体力増進や町全体のスポーツ振興に繋がった。        | 教育文化課  |
| 地域医療整備事業                 | 町民の救急医療体制を確保するため、町内唯一の「公的医療機関」である高田厚生病院の救急医療分野に対する財政支援策として、事業経費の助成を行うとともに、両沼郡医師会との委託契約により休日救急診療体制を確保する。                                                                                                                                                | 町民救急患者        | ①高田厚生病院が第2次救急告示病院として患者受け入れを継続する。<br>②当番となる両沼郡内の医療機関において、休日における救急患者を受け入れる。                                                       | ①高田厚生病院救急患者受け入れ件数(会津美里町民) 299件<br>②両沼郡内休日祝日救急患者受け入れ件数 696件 | ①町民利用件数は299件であった。<br>②両沼郡医師会休日当番受け入れ回数69回で延べ696人。前年と横ばいで新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受診される方が少なくなっていると思われる。                                                                                                                              | ①高田厚生病院の救急医療体制の確保に努めた。利用件数は299件(前年比23人減)で救急医療に貢献できた。<br>②両沼郡内における休日救急医療体制の確保に努め、郡内の救急医療に貢献できた。                                                                                                       | 健康ふくし課 |
| 生活支援体制整備事業               | 単身世帯や高齢者夫婦世帯、認知症の高齢者が増加する中、町が中心となって地縁組織、ボランティア、介護サービス事業所、社会福祉法人、社会福祉協議会、民生委員、NPO法人、民間企業、協同組合等の生活支援サービスを担う事業主体が連携・協力し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化することで高齢者の社会参加を推進する。また、高齢者の生活支援・介護予防サービスを相互に提供するシステムづくりを推進するため、生活支援コーディネーターを派遣する等、身近な地区に住民運営の「集いの場」の創設・運営を支援する。 | 地域住民          | 住民運営の集いの場や地域の支えあい活動等に参加することで、社会参加・社会的役割を持つことができ、生きがいや介護予防につながる。                                                                 | 住民運営の集いの場設置地区数 45地区                                        | ・集いの場への訪問活動及び戸別訪問を実施した。<br>・集いの場実践者交流会及び集いの場実践者報告会を開催した。<br>・地域支えあい活動事例集「さすけねえ」を作成し、全戸に配布した。                                                                                                                                   | ・生活支援コーディネーターが地域を訪問することで、地域の支えあい活動を発掘し、事例集などで周知を図ることができた。また、集いの場を維持・創出するための支援を行うため、各種広報や集いの場間の交流を図ったことにより、高齢者の社会参加が促進され、前年度に比べ自主活動する集いの場が増加した。(住民主体の集いの場設置地区数45地区)                                   | 健康ふくし課 |
| <b>(5)地域における防災力の強化</b>   |                                                                                                                                                                                                                                                        |               |                                                                                                                                 |                                                            |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                      |        |
| 消防団員活動事業                 | 火災発生の未然防止や、災害発生時の迅速な対応と被害の最小化を図るため、消防団活動を行う。                                                                                                                                                                                                           | 消防団員<br>消防団組織 | 迅速な活動が実施できる体制を確立するとともに、自分達の地域は自分達で守るという、消防団員の意識の高揚を図ることを目指す。                                                                    | 消防団員充足率 88 %<br>火災発生件数 7件                                  | ・春季および秋季の火災予防運動週間における広報活動、月2回の管内広報、新入団員を対象とした教育訓練を実施した。<br>・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、消防団式典は出初式のみの実施であった。<br>・新規団員の確保がけになっている消防操法大会の在り方について見直しを図り、両沼予選会について輪番順を取り入れることを会津坂下支部との協議により決定した。                                         | ・新入団員を対象とした訓練を実施することにより、消火技術の習得ができた。<br>・定期的に広報活動を実施することにより、建物火災の発生件数を抑え、火災による死亡者数が0名であった。                                                                                                           | 総務課    |
| 消防施設維持管理事業               | 消防用施設(屯所、車両、小型ポンプ、水利等)の維持管理                                                                                                                                                                                                                            | 消防用施設         | 適切に管理されている。                                                                                                                     | 不具合のあった機械器具等の修繕 45台<br>不具合のあった消防施設等の修繕 40箇所                | ・消防施設の適正な維持管理を行った。<br>小型動力ポンプの更新(永井野上町、本郷高田町)計2箇所、火の見櫓の撤去及び消防ホース乾燥塔の設置(荒井・御用地・入宗)計3箇所、消防機械(小型ポンプ、消防車両)の修繕 45箇所、消防施設(屯所、防火水槽、消火栓等)の修繕 40箇所、消防設備(格納箱、消火栓標識、防火水槽標識)の修繕 54箇所                                                       | 定期的な点検を実施し、修繕が必要となった消防機械等を随時修繕することにより、消防活動に支障をきたさないよう維持管理することができた                                                                                                                                    | 総務課    |
| 災害対策事業                   | 町民を災害から守るとともに、災害発生時の被害を最小限に留めるため、防災体制の充実を図る。                                                                                                                                                                                                           | 町民            | 町民を災害から守る                                                                                                                       | 備蓄品の整備状況 98%<br>自主防災組織の設立数 16組織                            | ・備蓄計画に基づき、備蓄品・資機材の整備、更新を行った。さらに、避難所の新型コロナウイルス感染症対策に必要な備蓄品を整備した。<br>・避難情報の変更に伴う各種マニュアルの修正を行った。<br>・町職員を対象とした職員招集訓練、避難所開設訓練、物資輸送訓練を実施した。                                                                                         | 各種マニュアルに基づき訓練を行い、災害時の対応を確認した。それにより7月の台風第8号や3月の震度5弱地震の際、自主避難所の開設等を円滑に進めることができた。                                                                                                                       | 総務課    |